

令和元年台風19号に伴う環境放射能モニタリング結果について（第1報）

令和元年10月30日
福島県危機管理部放射線監視室

台風19号に伴う大規模な浸水被害のあった地域において、令和元年10月23日（水）及び24日（木）に空間放射線量率の測定、河川の氾濫に伴い流入した泥土の放射能濃度の測定及び大気浮遊じんの放射能濃度の測定を実施しましたが、その結果については下記のとおりです。

1 調査結果

- 空間放射線量率の測定結果については、表1に示すとおり、測定値は0.08～0.16 μ Sv/hであり、台風19号通過前（令和元年9月）の県内7方部の空間放射線量率（0.03～0.15 μ Sv/h）と同程度でした。
- 泥土の測定結果については、表2に示すとおり、Cs134+Cs137の濃度が531～2,240Bq/kg（乾）であり、これは昨年度県が採取した県内7方部の結果（130～2,600 Bq/kg（乾））と比較して同程度でした。
- 大気浮遊じんの測定結果については、表3に示すとおりです。最大値となった桑折町（大字伊達崎）において、Cs134+Cs137の濃度は、0.99 mBq/m³となっていますが、当該濃度の空気を1年間吸い続けたと仮定した場合の内部被ばく線量は0.00038mSvと計算され、この値は、年間追加被ばく線量1mSvの約2,600分の1となります。

表1 空間放射線量率の測定結果【 μ Sv/h】

地点名	測定日	測定結果	県内7方部（※）の空間放射線量率の範囲（令和元年9月）
① 桑折町大字伊達崎	令和元年10月24日	0.14	0.03～0.15
② 本宮市本宮	令和元年10月24日	0.16	
③ 須賀川市中曾根	令和元年10月23日	0.15	
④ 相馬市北飯渕	令和元年10月24日	0.10	
⑤ 南相馬市原町区	令和元年10月24日	0.09	
⑥ いわき市平	令和元年10月24日	0.08	

※調査地点：県北保健福祉事務所南側広場、郡山合同庁舎東側駐車場、白河合同庁舎駐車場、会津若松合同庁舎駐車場、南会津合同庁舎駐車場、南相馬合同庁舎駐車場、いわき合同庁舎駐車場

表2 泥土の測定結果【Bq/kg 乾】

地点名	採取日	測定結果 (Cs134+Cs137)	県内7方部(※)の 環境土壌の範囲 (平成30年度)
① 本宮市本宮	令和元年10月24日	2,240	130~2,600
② 須賀川市中曾根	令和元年10月23日	695	
③ 相馬市北飯渕	令和元年10月24日	906	
④ いわき市平	令和元年10月24日	531	

※調査地点：福島市荒井、郡山市逢瀬町、いわき市川部町、白河市大信隈戸、相馬市中村、会津若松市一箕町、南会津町糸沢

※検出下限値 Cs-134：7.4~12 Bq/kg 乾、Cs-137：7.7~10Bq/kg 乾

表3 大気浮遊じん(ダスト)の測定結果【mBq/m³】(ハイボリウムエアサンプラによる測定)

地点名	採取日	測定結果 (Cs134+Cs137)
① 桑折町大字伊達崎	令和元年10月24日	0.99
② 本宮市本宮	令和元年10月24日	ND
③ 須賀川市中曾根	令和元年10月23日	ND
④ 相馬市北飯渕	令和元年10月24日	ND
⑤ 南相馬市原町区	令和元年10月24日	ND
⑥ いわき市平	令和元年10月24日	ND

※検出下限値 Cs-134：0.32~0.43 mBq/m³、Cs-137：0.26~0.39 mBq/m³

2 今後の調査について

これまでの6地点に郡山市及び石川町の2地点を追加した計8地点において、空間放射線量率の測定、泥土及び大気浮遊じんの放射能濃度の調査を11月に2回程度実施し、調査結果はその都度公表します。

担当：放射線監視室

室長 酒井 広行 電話 024-521-8491 内線 5322
副課長兼主任主査 佐藤 俊弥 電話 024-521-8492 内線 5323